



大臨技ニュース

〒545-0051
 大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル
 TEL.06-6647-3454 FAX.06-6644-1128
 社団法人 大阪府臨床衛生検査技師会
 発行責任者：朝山 均
 大臨技ホームページURL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>



新年ご挨拶



社団法人 大阪府臨床衛生検査技師会 会長 朝山 均

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

二十一世紀の幕開けは「同時多発テロ」という未曾有の大事件で明け、今なおその恐怖に曝されながら世界が動き、自然環境では地球温暖化による異常現象が各国で起こりました。

一方、国内といえは拉致問題で明け暮れ国交の難しさを知らしめました。そして「平成大不況」といわれるがごとく、日本経済が悪化の一途を辿り、医療経済においても大きな影響を受けた昨年でした。

我々の関係する臨床検査界も例外でなく厳しい状況下にあります。医療の本質から乖離した「市場原理」が先行する現状において、検査部・臨床検査技師として「何をなすべきか」一人ひとりが熟考し、行動を起こすことが大事と考えます。大臨技におきましても学術はもとより職能でも会員の皆様方に応えられるような事業を企画・実行したいと思っております。皆様方のご理解、ご協力、ご参加をお願いします。

今や、世の中の動きは目まぐるしいものがあります。この挨拶が皆様方の手元に届く頃には、新しいニュースが飛び込んでいるかも知れません。(何時ものことながら、これは年内に書いていますゆえ……) 年頭挨拶としてはいささか厳しいものとなりましたが、会員皆様方の益々のご繁栄とご健勝を祈念して新年挨拶とさせていただきます。

お知らせ

第4回「大放技・大臨技合同フォーラム」開催のお知らせ

恒例になってきました社団法人大阪府放射線技師会(大放技)との共催による「大放技・大臨技合同フォーラム」を下記の通り開催します。学術的な面においては「これだけは知っておきたい循環器検査パート2」について行い、コ・メディカルに期待される役割を白髪教授にお話ししていただき、今後各施設における検査室運営上、大いに役立つものと思っています。ぜひ多数ご参加をお待ちしています。なお、病院経営あるいはコ・メディカルの将来に興味を持っている他業種への参加呼び掛けも併せてお願いします。

日 時：平成15年1月18日(土) 15:00~18:00

会 場：大阪市立総合医療センターさくらホール

内 容：開催挨拶 <大臨技>会長 朝山 均

I) 学術フォーラム「これだけは知っておきたい循環器検査パート2」
 司会/高田 厚照(関西医科大学病院)

1-1: <大放技>「心臓検査における核医学の有用性」
 橋詰 輝己(大阪府立成人病センター)

1-2: <大臨技>「ここまでわかる心エコー検査」
 中尾 満(大阪市立大学附属病院)

II) 特別講演 司会/<大放技>会長 小川 利政

「医療制度改革とこれからの病院経営-コ・メディカルに期待される役割-」
 広島国際大学 医療福祉学部 医療経営学科 教授 白髪 昌世

質疑応答

閉会挨拶 <大放技>会長 小川 利政

参加費：500円(会員・非会員)

評価点：A-10点

連絡先：多根総合病院 中央検査部 竹浦 久司

TEL: 06-6581-1071(内線1060)

E-mail: q_take@tane.or.jp



技師会名称変更 のお知らせ

当会では今年の定期総会において、名称を「社団法人大阪府臨床衛生検査技師会」から「社団法人大阪府臨床検査技師会」と改名する提案をいたします。この件に関し、会員の皆様のご賛同が得られますことを心より願っております。詳細な記事は大臨技ニュース12月号に掲載されています。ご質問やご意見はFAXにて承っております。

FAX: 06-6644-1128(大臨技事務所)

1月の行事予定

- 9日(木) 血液シニア
[血液形態セミナー]
大臨技理事会
- 11日(土) 生涯教育推進講座
(卒後)
- 14日(火) 微生物定期
[微生物定期講習会]
- 15日(水) 生理定期
[腹部超音波研究会]
- 16日(木) 血清定期
[血清検査部会定期講習会]
情報組織部会
- 18日(土) 近畿臨床衛生検査技師
会病理細胞検査合同研
修会
一般定期
[一般検査部会定期講習会]
輸血定期
[輸血部症例検討会]
- 22日(水) **渉外部会**
- 25日(土) 第17回
大阪病理技術研究会
- 28日(火) 微生物定期
[微生物定期講習会]



第1回 大臨技フォーラムのお知らせ

例年、情報組織部では技師長会、地区事業部では地区懇話会を企画・開催しておりました。この度、両事業を発展的解消し、標記事業として再スタートすることに致しました。変化する医療環境下、検査室の管理から業務にすぐに役立つ情報を提供するのが狙いです。開催日時は会員の皆様に参加しやすい日曜日を設定しました。奮ってご参加下さい。

日 時：平成15年2月9日(日) 10:00~16:30
場 所：阪南パラドーム (大阪市教職員互助会厚生施設)
大阪市阿倍野区阪南町2-22-15 TEL:06-6623-7512
地下鉄御堂筋線「昭和町」4番出口南西徒歩5分

内 容：10:00~12:00
第一部『医療の安全管理を考える』~検査室管理運営に貢献~
「医療事故の判例から考える」 弁護士 吉岡 譲治
「TQM活動事例報告」 PL総合病院 中塚 親司
「インシデント・アクシデントレポート」 ベルランド総合病院 酒井 正容

13:00~15:20
第二部『わかりやすい報告書』~付加価値の高い報告書をめざして~
「臨床化学検査報告書」 近畿大学医学部附属病院 岩井 純
「血液検査報告書」 松下記念病院 村瀬 幸生
「微生物検査報告書」 国立循環器病センター 浦 敏郎
「生理検査報告書」 ベルランド総合病院 西原 幸一
「検査センターにおける報告書」 大阪血清微生物研究所 近藤 雅彦

15:30~16:30
第三部『特別講演会』
「検体検査に関する法整備の必要性」~臨床検査が正しい形で利用されるために~
日本医学臨床検査研究所 総括所長 佐守 友博

参加費：会員1,000円、非会員3,000円
評価点：A-10点
連絡先：運天政五郎 東住吉森本病院 TEL:06-6702-0010 (内線253)

平成14年度 大臨技学術部生涯教育推進講座

学術部 卒後教養部会

日 時：平成15年1月11日(土) 15:00~17:00
場 所：株式会社アズウェル 本館8階大会議室
内 容：卒後生涯教育講座講演会
「DNAチップによる臨床検査への将来展望とオーダーメイド医療」
講師：富士レビオ株式会社 学術サービス部 斉藤 嘉禎

評価点：A-10点
参加費：一般、賛助会員500円、非会員3,000円
*日臨技会員証をご持参下さい。
連絡先：学術部 卒後教養部会 責任者 杉山 恵美子
大阪府こころの健康総合センターストレス対策課
TEL:06-6691-2811 (内線503)

平成14年度 輸血部会症例検討会のご案内

日 時：平成15年1月18日(土) 14:00~16:30
場 所：大阪府赤十字血液センター 7階研修室
JR環状線・地下鉄「森ノ宮」下車 東へ200m
(車でのご来場はご遠慮下さい)

内容1：大阪府赤十字血液センターの医薬情報活動
講師：大阪府赤十字血液センター 永尾 暢夫
内容2：大量出血時の対応-血液製剤の選択を考える
・Rh(D)陰性患者、Jra抗体陽性患者
*話題提供：関西医科大学附属香里病院 大西 修司
近畿大学医学部附属病院 金光 靖

参加費：会員500円、非会員3,000円
当日受付にて会員証(カード)を提示して下さい。
評価点：C-10点
連絡先：金光 靖 近畿大学医学部附属病院
FAX:072-368-1025

平成14年度

輸血セミナー2003のご案内

日時：平成15年2月8日(土) 10:00～ / 9日(日) 9:30～

場所：大阪市立総合医療センター さくらホール

大阪市都島区都島本通2-13-22

JR環状線「桜ノ宮」駅下車 東出口から北へ約7分

地下鉄谷町線「都島」駅下車 ②番出口西へ約3分

市バス「総合医療センター前」バス停下車 駐車場あり(有料)

参加費：会員5,000円、非会員8,000円(テキスト代2,000円を含む)

*1日だけの参加も可。参加費は同額。

事前の参加申し込みが必要です。下記の要領でお申し込み下さい。

評価点：(日臨技生涯教育研修制度) C-20点

会員証を必ずご持参ください。

■ 内 容

2月8日(土) 10:00～17:30

10:15～12:00 講義-1:血液型抗原

講義-2:抗体スクリーニング・交差適合試験

13:30～15:00 講義-3:HLAと血小板輸血

講義-4:自己血輸血と適正輸血

15:45～16:35 講義-I:「造血幹細胞移植の進歩」

大阪市立総合医療センター 迫 正廣

16:40～17:30 講演-II:「非溶血性輸血副作用」

日本赤十字社中央血液センター 嶋田 英子

18:00～ 懇親会(会費3,000円を予定)

2月9日(日) 9:30～12:30

9:30～12:30 シンポジウム「輸血検査の24時間体制」

大阪市立総合医療センター 救命救急センター 宮市 巧典

泉州救命救急センター 検査室 福田 篤久

京都大学医学部附属病院 輸血部 万木 紀美子

兵庫県立尼崎病院 研究検査部 千田 園子

■ 参加申し込み方法

官製ハガキに、「輸血セミナー2003参加希望」とお書きいただき以下の必要事項を記入の上、下記まで郵送して下さい。

①施設名・所属・会員番号 ②氏名 ③連絡先TEL

④参加日(例:8日と9日) ⑤懇親会参加の有無

〒572-8551 寝屋川市香里本通町8番45号

関西医大附属香里病院 中央検査部(血清室)大西 修司 宛

※参加費、懇親会費は、当日お支払い下さい。

※申し込み締切りは、平成15年1月20日です。

※申込者はすべて受け付ける予定です。参加の可・不可の通知は行いませんので、ご了承ください。

血清検査部会
定期講習会
のお知らせ

学術部 血清検査部会

甲状腺疾患は、他の内分泌疾患と比較してきわめて頻度が高く、日常いろいろな診療科で経験されております。

今回は甲状腺の専門病院であります隈病院より講師をお招きし、甲状腺疾患の基礎を始め、甲状腺機能の判定や実際の臨床例をもとにした甲状腺検査の解釈についてお話していただきます。

日時：平成15年1月16日(木)

18:30～20:00

場所：株式会社アズウェル大阪本社

本館8階大会議室

大阪市中央区石町2丁目2番9号

地下鉄谷町線天満橋駅、

京阪電車天満橋駅下車、

南西へ徒歩約5分

テーマ：甲状腺ホルモンマーカーの読み方

講師：医療法人神甲会 隈病院

総合検査部 検査科 森田 新二

参加費：大臨技、近臨技会員および賛助

会員は500円、非会員は3,000円

評価点：C-10点

連絡先：宮野 章

大阪府立母子保健総合医療

センター検査科

TEL:0725-56-1220(内線2068)

E-mail:miyano@mch.pref.osaka.jp

第17回
大阪病理技術研究会
のご案内

日時：平成15年1月25日(土)

13:00～17:00(予定)

場所：株式会社アズウェル大阪本社

本館8階大会議室

参加費：会員500円、非会員3,000円

評価点：C-10点

連絡先：日生病院 中央臨床検査部

水口 洋一

TEL:06-6543-3581

第12回大臨技北支部生涯教育自由集会

ガラシア病院 堀田 真希

「ここがヘンだよ検査技師 Part 2」に参加して

今回の講師は看護師であり、テーマは「看護師から見た、ここがヘンだよ検査技師」であった。検査技師のイメージは、名前は知っているが顔がわからない。結果が早く欲しいのに、少しも急ぐ様子がない。問いかけると、「急いでやっても分析器から出る報告時間は変わらない。」という機械的な受け答えしか帰ってこない。また、勤務先の病院の検査室は地下にあったせいか、暗いというイメージが捨て切れない。

検査技師を色でたとえとしても、どれもピンとくる色が浮かばないそうである。残念ながら私にはどれも納得してしまう事ばかりであった。

ではどうやって看護師の中で検査技師の知名度を上げていけば良いのだろうか？要するに顔が売ればよいのである。何かと用事を作って何度も病棟に顔を出すのも一つの手である。気になるデータがあれば、病棟に行って患者の容体を聞くのも効果的である。そう

することによって、患者のすぐ側にいる看護師だけでなく、検査技師も参加して、全員で患者を助けているという仲間意識が芽生える。これこそがチーム医療である。今までであった検査技師のイメージを根本的に変える事は難しいけれど、検査技師のイメージが明るい色となるには、他部署からも頼られる検査室作りを目指すことを、これからの課題にしていこうと思う。

開催される 摂津市民健康まつり

第2地区区長 本岡 敬一郎

今 年度も11月9日・10日の両日に摂津市健康まつりが開催されました。今年度は保健センターとの話し合いの中で大掛かりなことはせずに簡単にということになり、臨床検査コーナーはパネル展示のみという、おとなしい内容となりました。今回は私のミスで連絡が遅くなったことや展示だけという参加となったため、1日目は準備のみ、2日目は1名の技師の参加と最少人数での対応となりました。パネルだけの展示のため、忙しいという場面こそありませんでしたが、健康に対する市民の関心は高く、病気について色々質問される方や、健康まつりで色々なミニ健診をして欲しいとの話もありました。北摂地区においては吹田市・茨木市・高槻市・豊中市等で、毎年秋に健康に関するイベントがあります。最近は簡単な検査を含めた市民への健康チェックコーナーを、色々な職種が合同で行なっています。先ほどの市民の方もそのような話を聞いてのことと思います。これは我々技師会だけでは対処できる問題ではなく地区の運営母体の判断に委ねられます。しかし、各地区からミニ健診様のイベントの企画・運営の依頼が来た時には、即時に技師会としてこんなことができるというものを常に持参し、市民の皆様に検査技師の存在をアピールしたいと思います。そのためには多くの技師のパワーが必須となります。その際には皆様の御協力をお願いします。



リレーエッセイ パトンタッチ

初 めてホストファミリーを体験した。YMCAのボランティア活動をしている娘から、YMCAが日本アジア学院留学生のための宿先を探しているのを聞き、我が家も応募した。女性1人までなら可能という我が家の条件にあったナシマさんが平成14年11月15日(金)から我が家に2泊した。ナシマさんはバングラデシュの生活改善の指導をしている女性で、NGOの援助で日本に来て農業、調理、栄養、そして女性問題などに関する研修をしているとのことだった。今回は学外での研修のため、ホームステイあるいは移動用のバスに寝泊りしながら西日本を移動しているとのことだった。こちらではピース大阪の見学など、体験学習をしたのだった。

まず、味覚の違いに驚いた。日常はホット(唐辛子)で、スパイシー(ターメリックなどカレーに使うよう)な香料を使っているとのこと。醤油味はあまり得意ではないとのこと、大概のものは塩と唐辛子で味をととのえて(?)もらった。滞在中は食事のときや夕食後に多くのことを話すことができた。たとえば、バングラデシュでは女性が外で働くことはまだ一般的でないため、珍しいのも手伝って妊娠中の働く

女性には職場の同僚がとても優しく、いろいろと食べ物をすすめたので、妊娠中に肥満になってしまった例もあるとか。また、家族に子供が生まれたら、母親が一番の教育者となり、兄や姉も生きていくために必要なことを教えてあげるのが普通で、親戚や隣人との付き合いもとても大切にしていることなどを聞いた。彼女は、私たちがすさまじい速さで発展した日本に住んでいて、いつの間にか希薄になりつつある多くのことを思い出させてくれた。テレビや新聞などで、よくこのような事が取り上げられるが、異文化で育った人と実際にひざを突き合わせてじっくり話したことの感慨はとても深かった。

ナシマさんは33歳で、考え方もしっかりしており、知識も豊かだったので、初めてのホストファミリーにとってはとても幸いだった。ナシマさんが出発した午後、私たち家族は一致した感想を持った。違う文化や価値観をもった国の人たちと、時間をかけて話せたことをとてもすばらしく感じたこと、そしてまたこのような機会を持ちたいと思ったことだった。

人はなぜ旅をしたくなるのだろうか。有名なものを見たり、おいしいものを食べたりすることもその目的のひとつだが、私たちはそこに住んでいる人たちの文化や考え方に触れたいからこそ旅にでるのではないだろうか。ナシマさんが帰った次の日の朝、私は旅行から帰ったような気分になっていた。

(大阪府立看護大学医療技術短期大学部 近藤 弘)

Q 気になるギモンに
お答えします!

Q 止血の術前検査

現在、勤めている病院では、オペ前検査として出血・全血凝固時間を取り入れています。全血凝固は手技による個人差、また患者様への負担などを考えて、凝固時間のPT、APTT、フィブリノゲンへの変更を考えています。現在、他施設では、オペ前検査として、どの様な検査を取り入れているのでしょうか？ また、資料によってはFDPを項目に加えているものもあるのですか？ (匿名希望)

A お答えします。

1) 術前の止血スクリーニング検査

は主に術中の異常出血の有無についての検査ということになり、PT, APTT, Fbgの3項目の実施でいいと思います。これら3項目は凝固因子が関わる出血性素因の検出に適したスクリーニング検査といえます。異常値を示せば各凝固因子や抗体の検索を行えばよいわけです。

全血凝固時間については、いまだ医学教書に記載されていますが測定時間、手技、感度等を考えると、あえて採用する検査ではないように思います…。
2) 血小板が関わる出血性素因のスクリーニング検査として、出血時間があります。出血時間は他の多くの止血検査が in vitro 検査であるのに対して数少ない in vitro 検査のひとつです。そのため一次止血機能を生理的に近い状態で把握できる検査といえますが、再現性や感度、測定方法などに問題があります。例えば、Ivy法とDuke法とでは成績に乖離が認められたり、Ivy法による出血時間と心疾患の術中出血量の検討で相関が得られな

ったという報告があります。いまのところ、出血時間に替わるスクリーニング検査はありませんが、このような問題点を把握しておく必要があると思います。

- 3) 極めて稀ではありますが線溶の異常亢進による出血があり、この場合にはFDPの測定が必要となります。ただ、FDP測定は予知のためのモニタリングというよりも経過観察や予後に関わる検査としての意味合いが強いように思われます。
- 4) 以上については出血性素因に対する検査であります。余談ではありますが、過去に血栓症などの凝固亢進のエピソードを持っておられるPatientの場合はこれら検査項目では把握できないのは言うまでもありません。アンチトロンビンやプロテインC・S、ループスアンチコアグラントといった血栓性素因検索のための検査項目が必要となってくるでしょう。

(大阪府立母子保健総合医療センター) 今吉雄三

バイエル メディカル株式会社

今月のいちおし 

マルティスティックPROのPRO(プロ)は、尿蛋白質のProteinを表し、腎疾患早期発見の決め手となる「蛋白質・クレアチニン比」の測定を世界で初めて可能にした尿検査試験紙です。より専門的で精度の高い尿スクリーニング検査を目指すプロフェッショナルユースの尿検査試験紙です。

世界初! 蛋白/クレアチニン比が得られる尿検査試験紙
「マルティスティックスPRO」が誕生しました!!

尿検査の常識を変える
マルティスティックスPRO

- アルブミンに高感度・高特異性です。
- 蛋白/クレアチニン比が得られるので、尿の病状や重症度を修正できます。
- 腎臓病スクリーニングの信頼性を向上させて、腎疾患の早期発見に貢献します。

蛋白質(高濃度域)試験部分
アルブミンに対する高感度・高特異性を実現しました。

クレアチニン試験部分
高感度・高特異性を実現し、尿中のクレアチニン濃度を正確に測定します。

0120-123119

バイエル メディカル株式会社
三共株式会社

- マルティスティックPROは従来の尿検査試験紙に二種類の蛋白試験紙(低濃度域、高濃度域)と尿クレアチニン試験紙を加えることにより「蛋白質・クレアチニン比」を求めることができます。
- 「蛋白質・クレアチニン比」とは、尿クレアチニン試験紙の結果に基づき蛋白質の濃度を補正することにより、随時尿でも尿濃希釈能の影響の少ない結果を得ることを可能にしました。
- 腎疾患は早期に発見し治療を開始することで進行を遅らせることが重要であることから、病院外来や診療所などで簡便・迅速に検査できることが望まれます。
マルティスティックPROは、これら分野で「より専門的で精度の高い尿スクリーニング検査」を提供できると確信しています。
- マルティスティックPROは、当社から発売している尿分析器クリニテック50やクリニテック500で自動判読させることで「蛋白質・クレアチニン比」を尿糖や潜血など他の検査項目と同時に測定可能で様々な臨床の現場に手軽に情報を提供できます。

マルティスティックPROは開発元のバイエル・コポレーションが特許を持ち、国内だけでなく世界でも唯一の尿検査試験紙で、特に「蛋白質・クレアチニン比」について国内外の専門医の高い評価を得ています。様々な臨床の場で検討されますことを願っています。

Cool Down



A HAPPY NEW YEAR

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

ということで年も無事明け、食べたい放題寝放題の正月を過ごしている人もいるだろう。そんなことができるのも盆暮れ正月くらいなので自由に過ごすのが一番だ。私もこの年末年始は東京でのんびりと過ごしている。大体例年だと住吉大社へ初詣に行くのだが、元旦に行くと御堂筋線さながらの混雑なので、元旦を外して2日あたりに出かける。初詣に行くはず、おみくじという名の軽い運試しにとりかかる。私はここ数年小吉以上が出るので非常に気分が良いのだが、中には見事に凶を引いちゃう人もいる。"最初から凶なんて入れておかなければいいのに感じ悪い"というのが凶を引いた人の捨て台詞だ。あとは出店巡りも妙に懐かしい感じがして正月気分を盛り上げてくれる。そう言えば昔、初詣に行ったらベビーカステラを買うのが家の習慣だという男性と一緒に初詣に行ったことがあって、その人はその時もドラえもんベビーカステラを買っていた。私にも一袋くれたので覚えているのだ。初詣は1度行けば済むようだが、もしも別の男性からも"初詣に行こう"と誘われたらどうするか。違う人とも初詣に行っただが、今年一年波乱万丈間違いなしだ。そんな時は"会社の人と行って来るから"と答えておくと、相手も割とすんなり納得してくれる。かくして今年も平和な一年が訪れるのだ(たぶん)。 (今田晶子)

平成15年度 会費納入のお願い

平成15年度会費納入時期となりました。会費は前納制をとっていますので、1月31日までのできるだけ早い時期に納入して下さい。

なお、1月31日までに納入されないとき(継続の方)は会誌「医学検査」が中断されますので念のためご案内します。

	納入金額
①日本臨床衛生検査技師会	10,000円
②大阪府臨床衛生検査技師会	4,700円
③近畿臨床衛生検査技師会	300円
合 計	15,000円

領収書について

平成14年度より郵便振込みの際に渡される半券の領収書をもって大臨技会費領収書とさせていただきます。

従前のような手書きの領収書を特に必要とされる方は別途大臨技事務所のほうへご依頼ください。

- 新入会員の方は、入会金6,500円(日臨技2,000円、大臨技4,500円)が加算されますので、合計21,500円となります。
- なるべく施設毎にまとめてお振込みください。
- 納入の際は必ず施設名と会員番号をご記入ください。
- 送金は専用の郵便振替用紙をご利用ください。
- 移動・その他の変更届についても所定の届出用紙をお願いします。
- 特に住所変更については、必ず届出をしてください。
届出をされませんと、宅急便のメールサービスを利用した大臨技からの郵送物は、あて先不明で配達されなくなります。

活動性抗酸菌症の
診断に有効

抗抗酸菌(Lipoarabinomannan)抗体検出試薬キット

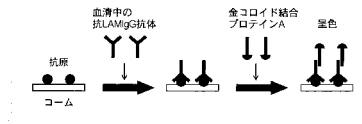
「マイコドット」 MycoDot

特徴

1. 血清中の結核菌及び非定形抗酸菌による抗体を検出します。
2. 金コロイド免疫測定法を用い簡便、迅速な検査が可能です。(所要時間20分)
3. 特別な装置・器具を必要としません。
4. 排菌陰性症例でも高い陽性率を示します。(陽性率69%)

測定原理

固相化抗原(Lipoarabinomannan=LAM)と結合した血清中の抗抗酸菌(LAM)抗体が、金コロイド結合プロテインAと反応し呈色(淡紅色)する。



〔資料請求先〕



和光純薬工業株式会社 臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13 電話: 03-3270-9134(ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX : 06-6644-1128 E-mail : imai@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付下さい。

2月号の原稿〆切は 1月7日(火)、3月号は 2月4日(火) です。